

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
看護学概論	1 単位 (30 時間)	半藤 徳子 (臨床経験 7 年)	1 年前期

【学習目標】

看護学全般の概念をとらえ、社会における看護の位置づけと役割の重要性を認識する
さらにこれから先に学ぶ各看護学や看護実践の基盤となる基礎的知識を理解する
授業をとおして「看護とは何か、専門職としてのあり方」を考え、自己研鑽への導入とする

【授業の進め方】

講義、グループワーク

【授業スケジュール】

- 1 「看護とは何か」 今の私達が考える看護
- 2 //
- 3 //
- 4 今の私達が考える看護 発表・意見交換
- 5 看護の実際 「あなたの声が聴きたい」DVD鑑賞
- 6 看護への導入(哲学)、看護の歴史
- 7 専門職としての看護と教育 一定義、役割と機能、教育
- 8 看護実践に必要な主な諸概念 看護の対象一人間の理解
- 9 健康・病気と看護、人と環境
- 10 看護における倫理と価値
- 11 倫理的問題への対応
- 12 倫理的問題への対応、看護の法的側面
- 13 看護実践のための理論 ー現代看護の定義と看護モデル
- 14 現代看護の定義と看護モデル、今後への展望とまとめ
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座：専門分野 I 看護学概論 医学書院

【参考書】

看護覚え書き	F. ナイチンゲール	現代社
看護の基本となるもの	V. ヘンダーソン	看護協会出版会
臨床看護の本質	A. ウィーデンバック	現代社
倫理綱領		照林社

【評価方法】

筆記試験 (60%)
レポート成績 (40%)

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
看護理論	1 単位 (15 時間)	富澤 敦美 (臨床経験 32 年)	1 年後期

【学習目標】

看護理論とは何かについて述べることができる
看護理論の分類、歴史的変遷について説明できる
主な理論家の理論を理解し、概要を説明できる
看護理論の看護実践への活用法について考えることができる

【授業の進め方】

講義、グループワーク

【授業スケジュール】

- 1 看護理論とは、看護理論の歴史的変遷
- 2 看護理論の分類と看護実践の活用
- 3 主な理論家解説、課題についてGW
(ナイチンゲール、ヘンダーソン、オーランド)
- 4 課題についてGW
- 5 グループ課題発表
- 6 グループ課題発表
- 7 グループ課題発表
- 8 筆記試験

【教科書】

看護理論 看護理論 21 の理解と実践への応用 南江堂
看護の基本となるもの 日本看護協会出版会

【参考書】

中範囲理論入門 日総研

【評価方法】

筆記試験 (50%)、課題レポート (50%)

科 目	単位（時間）	担当者	授業時期
コミュニケーション技術	1 単位 (30 時間)	三井洋子（保健師）	1 年後期

【学習目標】

- * 基本的な相互作用とコミュニケーションの意義を理解し、効果的なコミュニケーションのための態度・知識・技術を習得する。
- * 医療におけるコミュニケーションについて考え、その特徴を理解し、実践するための態度・知識・技術を習得する。
- * より豊かなコミュニケーションを図るため、自分自身に起こっていることに気づき、セルフケアできる能力を培う。

【授業の進め方】

講義だけでなく、演習・体験を組み合わせた学習とする。
 毎回自分自身が気づいたことを整理するために振り返りの時間を持つ。

【授業スケジュール】

- 1 コミュニケーションの基本 どんなコミュニケーションを目指したいか
- 2 信頼関係を作るスキルⅠ（リフレクション、ミラーリング、ペーシング等）
- 3 傾聴Ⅰ（相手の体験している世界を聴く。自分の世界とはちがうことを知る）
- 4 アサーション①
- 5 アサーション②
- 6 気づきの3つの領域と五感の使い方のクセ
- 7 自我状態とストローク・交流パターン
- 8 セルフコントロールⅠ（自分の感情に気づく）
- 9 セルフコントロールⅡ（自分の感情を癒す）
- 10 傾聴Ⅱ（相手の感情や思いを聴き、受け取る…受容と共感）
- 11 事実と解釈
- 12 質問力を高める。情報や自分の考え、気持ちを伝える
- 13 コミュニケーションタイプを知るⅠ
- 14 コミュニケーションタイプを知るⅡ
- 15 課題レポート

【教科書】

医学書院 「専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②」

【参考書】

【評価方法】

出席日数、演習体験等への参加態度、毎回の振り返りの記録、最終講の課題レポート

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
基礎看護技術 I	1 単位 (30 時間)	富澤 敦美 (臨床経験 32 年)	1 年前期

【学習目標】

感染を予防するための基本的な知識・技術を習得する
看護の対象の生活環境を整える目的を理解し、その方法を習得する

【授業の進め方】

講義、演習、課題学習

【授業スケジュール】

- 1 基礎看護技術ガイダンス
感染予防の基礎知識
- 2 感染予防のための援助技術
スタンダードプリコーション・感染経路別予防策
- 3 滅菌・消毒と滅菌物の取り扱い、無菌操作
- 4 演習 手洗い、滅菌手袋の装着・ガウン装脱着、滅菌物の取り扱い・清潔操作
- 5 "
- 6 療養環境整備の意義
- 7 療養環境整備の実際
- 8 ベッドメイキング技術
- 9 演習 ベッドメイキング
- 10 "
- 11 "
- 12 "
- 13 技術チェック ベッドメイキング
- 14 "
- 15 筆記試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I・II 医学書院
看護が見える ①基礎看護技術 メディックメディア

【参考書】

【評価方法】

筆記試験 (80 点)、技術チェック (20 点)

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
基礎看護技術Ⅱ	1 単位 (20 時間)	金塚 孝司 (臨床経験 34 年)	1 年前期

【学習目標】

日常生活における活動と休息の意義・身体の仕組みを理解したうえで、活動を制限されることによる身体的・精神的・社会的影響を学習し、活動制限のある患者に対する援助方法を学ぶ。また、休息と睡眠の意義と援助方法を学ぶ。

【授業の進め方】

講義 演習

【授業スケジュール】

- 1 活動の意義 基本的活動の基礎知識 姿勢と体位
- 2 体位変換、ボディメカニクス
- 3 体位の保持（ポジショニング） 演習について
- 4 演習「基本的体位変換の援助」
- 5 "
- 6 睡眠・休息の援助
- 7 歩行・移乗・移送の援助
- 8 演習「移乗・移送の援助」
- 9 "
- 10 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院
 新体系看護学選書 基礎科目 物理学 メヂカルフレンド社
 看護がみえる 基礎看護技術 メディックメディア

【参考書】

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
基礎看護技術Ⅲ	1 単位 (30 時間)	関 あゆみ (臨床経験 9 年) 佐藤 理紗 (臨床経験 7 年)	1 年全期

【学習目標】

1. 人間にとっての食事・栄養及び排泄の意義と消化・吸収及び排泄のメカニズムを理解し、食事と栄養のニーズを充足するために必要な援助技術を習得する。
2. 排泄の意義とメカニズム、援助を受ける患者の心理を理解し、ニーズを充足するために必要な援助技術を習得する。

【授業の進め方】

講義・演習・課題レポート

【授業スケジュール】

- 1 食事・栄養の基礎的知識 ①食事・栄養の意義 ②機能 ③栄養のアセスメント
- 2 食事の援助 ①食事を妨げる因子 ②環境調整 ③嚥下のメカニズム ④消化・吸収
⑤食事援助時の倫理的配慮
- 3 疾病時の食事 ①食事の種類 ②食事介助の方法
- 4 食事の援助 ①食事介助の実際 ②演習について
- 5 演習 食事介助
- 6 //
- 7 非経口栄養法 ①経管栄養 ②経静脈栄養
- 8 排泄の基礎知識 ①排泄の意義 ②排泄のメカニズム ③排泄の観察・アセスメント
- 9 自然排便の援助 ①援助方法 (尿器・便器・ポータブルトイレ)
- 10 演習 床上排泄
- 11 おむつ交換、陰部洗浄
- 12 演習 (演習の説明、デモンストレーション、物品の説明など)
- 13 演習 おむつ交換・陰部洗浄
- 14 //
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 1 基礎看護学[3] ー基礎看護技術Ⅱー 医学書院

【参考書】

看護がみえる 1. 基礎看護技術 メディックメディア

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
基礎看護技術Ⅳ	2 単位 (45 時間)	益満 恵美子 (臨床経験 9 年)	1 年全期
<p>【学習目標】 患者の自然治癒力を高め、健康の回復と自立に向かえるよう、相手の状況に十分配慮して安全・安楽に清潔援助を行うことができる</p> <p>【授業の進め方】 講義、演習、グループワーク</p> <p>【授業スケジュール】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 清潔の意義と看護師の役割、清潔援助に必要な援助知識 2 清潔援助に必要な観察の視点・アセスメントを理解する 3 入浴・シャワー浴の意義と援助方法、部分浴の意義と援助方法 4 部分浴援助の実際 5 足浴・爪切り (演習) 6 〃 7 全身清拭の意義と援助方法 8 全身清拭 患者の気持ちを考えた援助 9 全身清拭の援助の実際 10 衣生活の知識の修得 11 寝衣交換援助の実際 12 全身清拭・寝衣交換のポイント 13 全身清拭・寝衣交換 (演習) 14 〃 15 洗髪の意義と援助方法 16 洗髪援助の実際 17 洗髪 (演習) 18 〃 19 口腔ケアの意義と援助方法、洗面・口腔ケアの実際 20 口腔ケア (演習) 21 〃 22 技術試験 23 筆記試験 <p>【教科書】 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3] ー基礎看護技術Ⅱー 医学書院</p> <p>【参考書】 看護がみえる 1. 基礎看護技術 メディックメディア</p> <p>【評価方法】 筆記試験 (50 点)、技術試験 (50 点)</p>			

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
フィジカルアセスメント I	1 単位 (30 時間)	町田 久美 (臨床経験 5 年)	1 年前期

【学習目標】

対象の身体的側面の情報を得るために必要な身体計測と生命の徴候の観察技術を習得する。自主・他者との技術練習の中で技術練習・振返りをおこない、原理原則・根拠に基づいた看護技術の定着を図る。

【授業の進め方】

患者の状態を把握する基本的な観察技術を原理原則に基づき、患者の安全安楽と正確に測定できることを大切に、繰り返し練習を重ねて技術を習得できるよう学習する

【授業スケジュール】

- 1 バイタルサインとは 生命を維持する機能の観察 (体温)
- 2 生命を維持する機能の観察 (脈拍)
- 3 生命を維持する機能の観察 (血圧)
- 4 生命を維持する機能の観察 (血圧)
- 5 報告・記録の方法
- 6 演習 バイタルサイン測定の実際
- 7 〃
- 8 〃
- 9 身体計測 (身長、体重、視力、握力、腹囲、胸囲)
- 10 演習 身体計測の実際
- 11 〃
- 12 技術試験 バイタルサイン測定の実際
- 13 技術試験 バイタルサイン測定の実際
- 14 〃
- 15 筆記試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I 医学書院
 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II 医学書院

【参考書】

看護技術ベーシックス 医学芸術社

【評価方法】

筆記試験と授業態度 (出席時間・演習への参加状況) の総合評価 (50%)
 技術試験 (50%)

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
臨床看護総論	1 単位 (30 時間)	ペタス 裕子 (臨床経験 16 年)	1 年後期

【学習目標】

臨床看護の特徴とその対象者、臨床看護の基本的構成要素を知り、看護に臨む姿勢について理解する。また、臨床看護の基本的構成要素の中から主な症状と経過別に関する看護を理解する。

【授業の進め方】

講義, 演習

【授業スケジュール】

＜症状別看護＞

- 1 看護からみた症状とは、発熱時の看護
- 2 呼吸困難、喀血、吐血時の看護
- 3 意識障害のある患者の看護
- 4 浮腫・心不全のある患者の看護
- 5 ショック時の看護
- 6 嘔吐・嘔気時の看護
- 7 倦怠感のある患者の看護
- 8 疼痛のある患者の看護
- 9 冷温罨法 (演習)

＜経過別看護＞

- 10 病気別看護 臨床看護の特徴
- 11 急性期看護
- 12 慢性期看護
- 13 回復期・リハビリテーション期看護
- 14 終末期看護
- 15 試験

【教科書】

新体系看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論 メヂカルフレンド社
 系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅱ 医学書院
 系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院
 系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学 医学書院

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
看護過程 I	1 単位 (30 時間)	和田 光子 (臨床経験 12 年)	1 年後期

【学習目標】

実践からの学びを明確にするためのリフレクションの方法を学ぶとともに、個別性に合わせた看護を科学的に実践するために必要な看護過程展開の方法を理解する。

【授業の進め方】

自らの看護実践を振り返り、その現象の意味を見出しさらに次の実践にいかすことを大事に患者と関わってほしいと願う。そのために、自己理解、他者理解となるグループワークをすすめ多様な考え方や見方があることを体験する。また、対象にあった看護を提供するための看護過程の思考を、事例を用いながら学習していく。

【授業スケジュール】

- 1 リフレクションとは
- 2 自己の価値観を知る (個人ワーク)
- 3 他者の価値観を知る (発表)
- 4 描写 (個人ワーク・グループワーク)
- 5 発表
- 6 看護過程とは
- 7 看護過程の構成要素 ステップ1 アセスメント
- 8 ステップ1 アセスメント
- 9 ステップ1 情報収集・整理
- 10 ステップ2 看護問題の明確化
- 11 ステップ3 看護計画
- 12 ステップ3 看護計画
- 13 ステップ4 実施・結果
- 14 ステップ5 評価
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I 医学書院

【参考書】

看護教育・実践にいかすりフレクション 田村由美/池西悦子著 南江堂

【評価方法】

筆記試験、授業態度の総合評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
地域・社会学演習	1 単位 (20 時間)	宮本 千絵 (臨床経験 12 年)	1 年前期

【学習目標】

須坂市及び近隣地域の特徴を知ると共に、地域で生活する人々の暮らしを理解する。また、地域の環境が人々の暮らしにどのような影響を与えているか考える

【授業の進め方】

講義、グループワーク、フィールド調査

【授業スケジュール】

- 1 地域について (課題発表)
- 2 } 須坂市生涯学習まちづくり 出前講座
- 3 } ・須坂市の商業 (商業観光課) ・数字で見る須坂市 (政策推進課)
- 4 } ・災害に備えて (総務課)
- 5 フィールド調査計画書作成及びフィールド調査
- 6 〃
- 7 発表会準備
- 8 〃
- 9 発表
- 10 〃

【教科書】

なし

【参考書】

適宜、提示・紹介する

【評価方法】

課題提出、レポート

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人看護学概論	1 単位 (30 時間)	青木 佐知子 (臨床経験 20 年)	1 年全期

【学習目標】

成人期にある対象と健康問題の特徴を理解する。成人期にある対象の理解と看護を展開するために必要な概念や理論について理解する。

【授業の進め方】

講義、個人ワーク、グループワーク

【授業スケジュール】

- 1 成人であること、成人の生活と健康
- 2 成人各期の成長発達の特徴 (青年期)
- 3 成人各期の成長発達の特徴 (壮年期・中年期・向老期)
- 4 成人期に見られる健康障害 ①生活習慣に関連する健康障害
- 5 成人期に見られる健康障害 ②職業に関連する障害
- 6 成人期に見られる健康障害 ③生活ストレス・余暇活動に伴う健康障害
- 7 成人における健康の保持・増進・疾病の予防
- 8 生活と健康 自己の生活と健康との対比
- 9 〃
- 10 成人への看護アプローチの基本 病みの軌跡
- 11 成人への看護アプローチの基本 セルフケア
- 12 成人への看護アプローチの基本 ストレス
- 13 成人への看護アプローチの基本 危機理論・適応
- 14 成人への看護アプローチの基本 自己効力・ヘルスプロモーション
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 医学書院

【参考書】

国民衛生の動向 厚生労働統計協会

【評価方法】

筆記試験、レポート、授業態度の総合評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
老年看護学概論	1 単位 (30 時間)	松 沢 土 子 (臨床経験 26 年)	1 年後期

【学習目標】

老年看護学の対象となる高齢者を、社会的存在の生活者として理解するために、身体的老化のみならず、その人の人生や影響を受けた社会変動、環境など多面的総合的に理解し、高齢者の健康と生活を支える基本的な考え方や姿勢を学ぶ。

【授業の進め方】

対象を個人のみならず家族や地域などの関係性をも視野に入れ生活者としての高齢者理解を基盤に対象の自立を支援するための看護学であることを学ぶ。老いのプロセス、現代の高齢者と家族、家族と介護機能、高齢者を取り巻く社会制度、高齢者の健康と保健行動、老年期の健康障害の講義、さらに身近な祖父母のライフヒストリーの語りや老人体験など演習を通し高齢者の身体と心の理解を深める。

【授業スケジュール】

- 1 I 老年期の身体的理解 1) ライフサイクルから見た老年期 ①老年期の定義 ②老年期の課題
- 2 " ③加齢と老化
- 3 "
- 4 老人体験 (演習)
- 5 II 老年期の精神的理解 祖父母のライフヒストリー (課題演習)
- 6 老化とところ まとめ
- 7 III 老年期の社会的理解 1) 我が国の高齢化の現状
- 8 2) 高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向 ①高齢者と家族
- 9 " ②高齢者の健康と福祉
- 10 " ③高齢者の生活環境
- 11 3) 高齢者を支える制度
- 12 4) 高齢者を支える社会資源 5) 高齢者の人権と倫理問題
- 13 IV 老年看護の課題と展望
- 14 まとめ「92歳のパリジャンヌ」
- 15 試験

【教科書】

- ①系統看護学講座：専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院
- ② " 老年看護 病態・疾患論 医学書院
- ③国民衛生の動向：厚生統計協会

【参考書】

随時適切な資料を提示

【評価方法】

演習 筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
母性看護学概論	1 単位 (30 時間)	小林 康子 (臨床経験 13 年)	1 年後期

【学習目標】

女性のライフサイクル全体を通して、性と生殖に関する健康の保持増進を目指す看護活動の基礎を学び、母性看護の特性を理解する。

【授業の進め方】

統計資料を用い世界の動向を踏まえ、現代社会の状況を捉えた講義の展開と臨床症例を紹介しながらグループワークを行う。

【授業スケジュール】

- 1 母性看護における学習の視点・母性とは
- 2 母子関係と家族発達 セクシュアリティ
- 3 リプロダクティブ/ヘルスライツ ヘルスプロモーション
- 4 母性看護における倫理 安全・事故予防
- 5 母性看護の歴史の変遷
- 6 母性看護の対象理解 (性周期・女性のライフサイクルと家族・母性の発達)
- 7 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護 (思春期)
- 8 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護 (成熟期)
- 9 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護 (更年期・老年期)
- 10 リプロダクティブヘルスケア
 - ①家族計画
 - ②性感染症とその予防
 - ③人工妊娠中絶とその看護
- 11 リプロダクティブヘルスケア
 - ④HIV に感染した女性に対する看護
 - ⑤性暴力を受けた女性に対する看護
- 12 リプロダクティブヘルスケア
 - ⑥喫煙女性に対する看護
 - ⑦虐待とその看護
- 13 母性における倫理的問題 (4ステップシートを使って)
- 14 母性における倫理的問題
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 医学書院
 国民衛生の動向 Vol166 No9 2019/2020 厚生労働統計協会出版社

【参考書】

新藤幸恵他：新体系看護学全書 母性看護学概論/ウィメンズヘルス看護 2012
 我部山キヨ子他：臨床助産師必携、生命と文化を踏まえた支援 医学書院 2006

【評価方法】

筆記試験